****
★☆★☆★ メルマガ 素形材（第３８７号）★☆★☆★【発行日：2022 年 11 月 7 日】
****

◆◇　本号の目次　◇◆

Ａ．素形材センター事業トピックス【☆●●●】
Ａ−1. 令和４年度「素形材産業貢献表彰」の受賞者決定!!　New★
Ａ−2.「素形材産業技術賞」の受賞技術を経産省で紹介・展示　New★
Ａ−3. 素形材技術研修講座「鋳鉄の生産技術」のご案内　New★
Ａ−4. オンライン素形材技術研修講座「鋳鉄の鋳造方案技術」のご案内
Ａ−5. オンライン素形材技術セミナー
「金属プレス加工のデジタルトランスフォーメーション(DX)
～　まず、デジタル化からスモールスタートしよう！　～」のご案内
Ａ−6. 月刊誌「素形材」2023 年 1 月号特集「わが社の素形材技術最前線」の
掲載原稿募集のご案内　“締切を延長しました！”
--- 掲載は無料です ---　【応募締切：１１月２１日】

Ｂ．素形材センター出版物情報【●☆●●】
Ｂ−1. 月刊誌「素形材」令和 4 年 10 月号（Vol.63,No.10）
Ｂ−2.「新版 鋳鋼の生産技術」（令和 4 年 7 月発行）

Ｃ．素形材業界関連ー募集・トピックスー【●●☆●】
Ｃ−1. 「関西発のイノベーション創出フォーラム」
—2022 年度第 2 回フォーラムのご案内—（11/10 開催）
【一般社団法人大阪科学技術センター】
Ｃ−2. 「難削材とその加工技術 – 加工の基礎から知能化まで」
【公益社団法人精密工学会】【公益財団法人 精密測定技術振興財団】
Ｃ−3. 第 427 回講習会「表面を知的に考える – 精密工学的テクスチャリング考」
【公益社団法人精密工学会】
Ｃ−4. オンライン教育講座「金属製錬の熱力学」開催のご案内
【公益社団法人日本金属学会】

Ｄ．素形材産業政策関連ートピックス・募集等ー【●●●☆】
Ｄ−1. 統計　【経産省】New★
Ｄ−2. １１月はテレワーク月間です　【経産省】New★
Ｄ−3. ２０２２年度冬季の電力需給対策を決定しました　【経産省】New★
Ｄ−4.「冬季の省エネルギーの取組について」を決定しました　【経産省】New★
Ｄ−5. 新型コロナウイルス・季節性インフルエンザの同時流行に備えた対応について
【厚生労働省】New★
Ｄ−6.「中小素形材企業のための DX 推進セミナー」　【経産省中部経済産業局】
Ｄ−7. 11 月は「下請取引適正化推進月間」です！　【経産省】

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※
Ａ．素形材センター事業トピックス【☆●●●】
∞∞∞

Ａ−1. 令和４年度「素形材産業貢献表彰」の受賞者決定!!　New★

---

11 月 4 日開催の「第 28 回素形材月間記念式典」において、下記の素形材産業貢献表彰を行いました。
【素形材産業技術賞】は、経済産業大臣賞 1 件、中小企業庁長官賞 1 件、経済産業省製造産業局長賞 1 件、素形材センター会長賞 3 件、素形材産業技術表彰委員会特別賞 4 件及び奨励賞 4 件です。また、表彰対象者のうち、中小企業の経営者自らが開発者である受賞者の中から選出した産業デザイン財団賞は 2 名です。
【素形材産業優良従業員表彰】の受賞者は 35 名です。また同受賞者のうち鋳物関係従業員の中から久保田長太郎賞､並びに西村茂賞としてそれぞれ 1 名が受賞されました。
受賞者の皆様、おめでとうございます！
なお、各賞の受賞者、並びに受賞概要については、下記 URL よりご覧いただけます。

■第 38 回素形材産業技術賞
https://www.sokeizai.or.jp/pages/47/
■第 60 回素形材産業優良従業員表彰
https://www.sokeizai.or.jp/pages/48/detail=1/b_id=192/r_id=224/#block192-224
∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞

Ａ-2. 「素形材産業技術賞」の受賞技術を経産省で紹介・展示 New★

「素形材月間」の一環として、経済産業省素形材産業室のご協力をいただき、本年度の素形材産業技術賞の受賞技術紹介と製品展示を同省の本館ロビーで行います。
同省への入館手続きをせずにご入場いただけますので、“３密にご配慮いただきつつ”ご来場ください。
https://www.sokeizai.or.jp/pages/45/
■展示会場：経済産業省本館ロビー(東京都千代田区霞が関 1-3-1)
https://www.meti.go.jp/intro/index_access.html
■展示期間：令和 4 年 11 月 8 日(火)～12 月 2 日(金)
※土日・祝祭日は入場できません。
∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞

Ａ-3. 素形材技術研修講座「鋳鉄の生産技術」のご案内 New★

素形材センターではオンラインで素形材技術研修講座を開催いたします｡本講座は､正しい理論に裏付けされた技術の習得及び現場の諸問題に的確に対応し、現場をリードできる技術･技能者を育成するために､理論と実際をテーマに､現場の経験を講義の中に多く取り入れるものです。受講者は、現場経験 3～5 年程度の方、現場経験は長いけれども、改めて理論的知識を習得したい方などを対象としています。皆様のご参加をお待ちしております。

■日時・オンライン研修講座　令和 5 年 1 月 12 日(木)、19 日(木)、24 日(火)
・集合型研修講座、工場見学　(株)ハイキャスト　　令和 5 年 1 月 26 日(木)

■プログラム
コーディネーター　(有)日下レアメタル研究所　鹿毛秀彦　氏

令和 5 年 1 月 12 日(木)オンライン研修講座
1.鋳鉄の材質及び基礎技術【鋳鉄の組織及びねずみ鋳鉄の材質と用途】
岩手大学　堀江　皓　氏
1.鋳鉄の材質及び基礎技術【球状黒鉛鋳鉄の材質と用途】

岩手大学　堀江　皓　氏
2.鋳鉄溶解の基礎【誘導炉溶解の実際】
草野産業(株)　鈴木敏光　氏
2.鋳鉄溶解の基礎【キュポラ溶解の実際】
(株)ナニワ炉機研究所　村田博敏　氏

令和5年1月19日(木)オンライン研修講座
3.溶湯処理【接種、脱硫、黒鉛球状化処理、CV化処理】
岩手大学　小綿利憲　氏
4.鋳造方案の考え方と欠陥対策【鋳造方案の考え方】
(有)張技術事務所　張　　博　氏
4.鋳造方案の考え方と欠陥対策【鋳造欠陥とその防止策】
(有)張技術事務所　張　　博　氏
4.鋳造方案の考え方と欠陥対策【CAEと鋳造方案】
クオリカ(株)　木下文昭　氏

令和5年1月24日(火)オンライン研修講座
5.造型技術の基礎【生型造型法の砂管理と造型】
(公社)日本鋳造工学会　佐藤和則　氏
5.造型技術の基礎【自硬性鋳型の砂管理と造型】
(株)木村鋳造所　菅野利猛　氏
5.造型技術の基礎【中子の砂管理と造型】
(公社)日本鋳造工学会　佐藤和則　氏
6.品質管理とQC７つの道具
小林技術士事務所　小林良紀　氏
6.品質管理と品質保証【組織試験、機械的性質試験】
元 日立金属(株)　五十嵐芳夫　氏

令和5年1月26日(木)集合型研修講座
6.品質管理と品質保証【非破壊検査】、全体のまとめ
(有)日下レアメタル研究所　鹿毛秀彦　氏
工場見学　(株)ハイキャスト

■詳しい内容やお申込みは、こちらをご覧ください。
https://www.sokeizai.or.jp/files/libs/1378/202211041207l8737.pdf

【問合せ先】
一般財団法人 素形材センター 企画部
e-mail:kensyu@sokeizai.or.jp
∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞

Ａ-4. オンライン素形材技術研修講座「鋳鉄の鋳造方案技術」のご案内

素形材センターではオンラインで素形材技術研修講座を開催いたします。本講座は、正しい理論に裏付けされた技術の習得及び現場の諸問題に的確に対応し、現場をリードできる技術･技能者を育成するために、理論と実際をテーマに、現場の経験を講義の中に多く取り入れるものです。受講者は、現場経験3～5年程度の方、現場経験は長いけれども、改めて理論的知識を習得したい方などを対象としています。皆様のご参加

をお待ちしております。

■日時　11 月 29 日(火)、12 月 6 日(火)、13 日(火)　3 日間
　　オンライン研修講座（Cisco Webex Meetings を使用）

●プログラム
コーディネーター　(公社)日本鋳造工学会　佐藤 和則　氏
11 月 29 日(火)
・鋳造方案の基礎　(株)ＩＪＴＴ　古里憲明　氏
・ねずみ鋳鉄の中･小物鋳造方案　(株)ＩＪＴＴ　古里憲明　氏

12 月 6 日(火)
・大物鋳物の鋳造方案　(株)木村鋳造所　菅野利猛　氏
・大物鋳物の鋳造欠陥と方案　(株)木村鋳造所　菅野利猛　氏
・特殊鋳造法の特徴と方案　栗熊技術事務所　栗熊　勉　氏

12 月 13 日(火)
・球状黒鉛鋳鉄の中･小物鋳造方案　(有)張技術事務所　張　博　氏
・コンピュータを利用した鋳造方案　クオリカ(株)　木下文昭　氏

■詳しい内容やお申込みは、こちらをご覧ください。
https://www.sokeizai.or.jp/files/libs/1223/20220929151101358.pdf

【問合せ先】
一般財団法人 素形材センター 企画部
e-mail:kensyu@sokeizai.or.jp
∞∞

Ａ-5. オンライン素形材技術セミナー
　　「金属プレス加工のデジタルトランスフォーメーション(DX)
　　～　まず、デジタル化からスモールスタートしよう！　～」のご案内

　デジタル技術の急速な進展にともない、従来の産業構造がダイナミックに変わろうとしています。このような中で我が国の製造業が生き残りを図るには、デジタル技術を積極的に活用して自らの競争力を高め、市場における優位性を確立することが求められます。この変革への仕組み創りの一つが DX です。中小プレス企業といえども、この DX への挑戦は避けては通れない状況にあります。本技術セミナーは、中小プレス企業をはじめ製造業に関わる経営者・責任者の方々にデジタル化と DX の必要性・重要性を認識していただくことを目的とし、すでに先進的に取り組んでいる企業のデジタル化の進捗状況を参考として紹介します。この講演を基にして中小プレス工場の DX 実現への筋道を探ります。多数のご参加をお待ちしています。

●日　時　　令和 4 年 11 月 30 日(水)　　13：00～16：50
　　オンラインセミナー（Cisco Webex Meetings を使用）

●プログラム
コーディネーター　元湘南工科大学　片岡　征二　氏
１．基調講演：「DX の必要性」と「アンケートに見る実際との解離」

元湘南工科大学　片岡征二　氏
２．プレス企業におけるデジタル技術の導入事例紹介
①“金型見守りシステム”から製造現場 DX 活動へ
日進精機(株)　加藤忠郎　氏
② IoTGO の導入と今後
久野金属工業(株)　久野忠博　氏
③ ダイセットの DX によるスマートな生産環境の実現
(株)ヤマナカゴーキン　金　秀英　氏
④ サーボプレスを活用したデジタル化事例
(株)放電精密加工研究所　稲田篤盛　氏
３．プレス業界のデジタル化から DX 化へ進展するための戦略
東京都立大学　楊　　明　氏

■詳しい内容やお申込みは、こちらをご覧ください。
https://www.sokeizai.or.jp/files/libs/1225/20220929154133605.pdf

【問合せ先】
一般財団法人 素形材センター 企画部
e-mail:kensyu@sokeizai.or.jp
∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞

Ａ-6. 月刊誌「素形材」2023 年 1 月号特集「わが社の素形材技術最前線」の
掲載原稿募集のご案内　“締切を延長しました！”
--- 掲載は無料です ---　【応募締切：１１月２１日】

本特集では、自社で開発（他機関との共同も含む）あるいは実用化された素形材技術や素形材製品をご紹介いただけます。貴技術や製品を需要業界および素形材関連業界、さらには広範囲な研究者・技術者に広く知っていただき、連携を図り、貴社事業の強化・拡大に繋がるきっかけになればと考えております。
素形材企業の皆様にご応募いただきやすく締切を延長しましたので、是非、この機会に貴社自慢の技術・設備をご紹介いただいては如何でしょうか。
皆様のご応募をお待ちしております。

◆掲載の仕様は１テーマ・１ページ（図表、写真含む）で、
１社３テーマまで掲載できます。
【応募締切】
令和４年１１月２１日
【応募方法】
応募方法の詳細・応募用紙などは、下記をご覧ください。
https://www.sokeizai.or.jp/pages/30/detail=1/b_id=482/r_id=200#block482-200
【お問合せ・原稿提出先】
一般財団法人素形材センター 業務部　E-mail：gyoumu@sokeizai.or.jp

◆また本特集の掲載を経由して、次年度の素形材産業技術賞へのご応募も可能です。
素形材センターが応募書類の作成をお手伝いします。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※
Ｂ．素形材センター出版物情報【●☆●●】

∞∞

Ｂ-1. 月刊誌「素形材」令和 4 年 10 月号（Vol.63,No.10）

【主な掲載内容】

◆特集　焼結技術からの機能・生体部材創成

◇粉末成形・焼結（粉末冶金）プロセスのシミュレーション

◇三次元積層造形治療機器のレギュラトリーサイエンスの動向

◇歯科医療におけるセラミック材料とデジタル技術の進展

◇チタン多孔質薄板 WEBTi®（ウェブチタン®）の開発と機能材料としての応用

◇焼結法による医療用金属材料

◆政策 TREND

◇令和５年度経済産業政策の重点・概算要求について、自動車の電動化に伴う中堅・中小自動車部品サプライヤーの支援について、AI による事業再構築補助金テーマ分析結果について

◆シリーズ「ノベーションを創出する素形材産学連携」第 15 回

◇兵庫県立工業技術センターにおけるものづくり技術支援業務

◆TOPICS

◇日本ものづくりワールド 2022 レポート

◇「特別講義」第 45 回 古くて新しいマグネシウム合金鋳造組織微細化剤の話題

他、随想、文献速報、素形材工業生産実績などを掲載

■バックナンバーも含め、下記よりお申込みいただけます。

https://www.sokeizai.or.jp/pages/30/

【申込み・問合せ先】

一般財団法人 素形材センター 業務部

e-mail:gyoumu@sokeizai.or.jp

∞∞

Ｂ-2.「新版　鋳鋼の生産技術」（令和 4 年 7 月発行）

　鋳造技術シリーズ 4「鋳鋼の生産技術」は、平成9年に発行以来、現在も同分野の専門書として、バイブル的に活用いただいています。一方、今日の鋳鋼の生産現場においては、生産技術の向上に加えAI，IT/IoT 活用等による生産性の向上など、急激な変化が進行中です。こうした状況等の変化も踏まえ、現状にマッチした内容で、より解り易くコンパクトな「新版 鋳鋼生産技術」を発行することなりました。本書は月刊誌「素形材」に令和元年9 月から計19 回にわたり掲載したものに一部加筆し、合本版として1 冊にまとめたものです。多くの方にお役立ていただきたく、この機会に是非ともご購入の検討をお願いします。

【目次】

第 1 章　　総論

第 2 章　　炭素鋼鋳鋼の材質特性

第 3 章　　低合金鋼鋳鋼の材質特性

第 4 章　　溶解、精錬

第 5 章　　鋳造方案および鋳型

第 6 章　　型ばらし・鋳仕上げ・溶接補修

第７章　　熱処理（炭素鋼鋳鋼・低合金鋼鋳鋼）
第８章　　高合金鋼鋳鋼品の特性と製造法
第９章　　試験,検査,鋳造欠陥対策および品質管理
第10章　　鋳鋼生産の省力化、自動化およびデジタル技術の活用
第11章　　作業環境、地球環境対策

【サイズ】 A4判　276頁
【価　格】 本体価格　5,000円　（消費税込み5,500円）
※賛助会員（特別賛助会員・一般賛助会員）は50%割引、
協賛会員は10%割引で、ご購入頂けます。

【申込み・問合せ先】
一般財団法人　素形材センター　企画部
E-mail：kensyu@sokeizai.or.jp

※※
Ｃ．素形材業界関連ー募集・トピックスー【●●☆●】
∞∞
Ｃ-1.　「関西発のイノベーション創出フォーラム」
—2022年度第2回フォーラムのご案内—（11/10開催）
【一般社団法人大阪科学技術センター】

このたび、当センターでは、「関西発のイノベーション創出フォーラム」の今年度第2回フォーラムを開催いたしますので、ご案内いたします。
第４次産業革命など社会の激変のなか、企業単独では優位性を保ちにくいことを踏まえ、関西発の独自技術を持つ中小企業と大企業等が新しいアプ ローチで協業・イノベーションにつなげます。

◆プログラム：
【１】開会　　　(13:15～13:20)
【２】技術発表　(13:20～17:00)

1. 「AI モデルを高速・軽量化する技術で、低コストで使えるAIシステムを！」
   株式会社ＧｅｅｋＧｕｉｌｄ
2. 「地盤・建造物の異常早期発見システムの提案　“５G で複雑な信号をクラウドへ転送、クラウド AI 処理で速やかに異常検知”」
   ＴＳＴジャパン株式会社
3. 「Ni 基超々合金金型による高強度難加工材（Ni,Ti 合金）の熱間鍛造における金型温度900℃での革新的生産性向上技術」
   ハイテン工業株式会社
4. 「プラズモニックナノタグで模倣品から顧客のブランドを守る」
   アーカイラス株式会社
5. 「感染防止・ケア品質向上のためのミリ波レーダ生体情報センシング技術による遠隔モニタリング」
   株式会社マリ
6. 「国内最強！高速・高精度のエッジ画像認識技術ラインナップ：tiwaki AI++」
   株式会社ｔｉｗａｋｉ

◆日　時：2022 年 11 月 10 日(木)
◆会　場：完全オンライン開催。参加申し込みの方に、別途、詳細ご案内
（オンライン接続先など参加方法）を事前にご案内いたします。
◆参加費：～フォーラムへの参加方法は 2 種類あります～
1.　各回ごとの参加：参加費：：￥16,500／人(税込)
（OSTEC 非賛助会員は、￥22,000／人(税込)）
2.　年間会員による参加：年会費：￥77,000／社(税込)
（OSTEC 非賛助会員は、￥110,000／社(税込)）

■詳細・申込方法：下記 URL をご覧下さい。
（開催案内）　https://uploads.strikinglycdn.com/files/51dc4267-f8f9-45d6-abe5-0cddb8c6a7e7/%E7%AC%AC2%E5%9B%9E%E6%A1%88%E5%86%85220930-2.pdf?id=3942500
（参加申込み）　https://kansai-forum.ostec.or.jp/4

【問合せ先】
一般財団法人大阪科学技術センター 技術振興部 山口・松本
TEL: 06-6443-5320　　FAX:06-6443-5319
E-mail: yamaguchi@ostec.or.jp
∞∞

C-2.　「難削材とその加工技術 － 加工の基礎から知能化まで」
【公益社団法人精密工学会】【公益財団法人 精密測定技術振興財団】

難削材は優れた特性を持つ材料であることが多く、難削材を自由にかつ高精度に加工できる技術の需要は今後ますます高まっていくことが予想されます。本講習会では、航空機エンジン材料から複合材や形状記憶合金、セラミックス等の硬脆材料まで幅広い難削材を対象として材料の特性やその加工技術を紹介します。また、難削材の加工の基礎から先端の研究事例、センサを用いた工作機械の知能化技術まで、加工に関する幅広い情報を提供いたします。多くの方々のご参加をお待ちしております。

◆日　時：2022 年 12 月 13 日(火)～27 日(火)
◆会　場：Box というクラウドサービスを用いてオンライン開催いたします。
◆定　員：制限なし
◆参加費：会員（賛助会員および協賛団体会員を含む）17,000 円
学生会員 2,000 円，非会員 31,000 円，学生非会員 7,000 円
◆申込締切：2022 年 12 月 21 日(水)
◆申込方法・詳細：下記 URL をご覧下さい。
https://www.jspe.or.jp/wp/wp-content/uploads/course/426.pdf
∞∞

C-3.　第 427 回講習会「表面を知的に考える － 精密工学的テクスチャリング考」
【公益社団法人精密工学会】

「トライボロジー」をご存じですか？ 一般に耳慣れないこの言葉は相互作用を及ぼしあう表面に関連した問題を扱う学問です。工学の様々な場面で顔を覗かせますが、得体の知れないものと考える技術者も多いのではないでしょうか。表面の微細な構造を適切に創成し、これをうまく利用することで生まれる恩恵はトライボロジー研究の分かりやすい成果の一つと言えます。本講習会では、表面テクスチャリングに焦点を

あて、その創成技術だけでなく利点や応用例についても、この分野の研究・開発に広く携わって来られた講師をお招きして解説頂きます。皆様には、加工技術／応用に偏ることなく得られる多くの知見を、今後の研究・開発にお役立て頂けると考えております。

◆日　時：2022 年 12 月 6 日(火)～22 日(木)
◆会　場：Box というクラウドサービスを用いてオンライン開催いたします。
◆定　員：制限なし
◆参加費：会員（賛助会員および協賛団体会員を含む）22,000 円
　　　　　学生会員 2,000 円，非会員 36,000 円，学生非会員 7,000 円
◆申込締切：2022 年 12 月 15 日(木)
◆申込方法・詳細：下記 URL をご覧下さい。
https://www.jspe.or.jp/wp/wp-content/uploads/course/427.pdf
∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞

C-4. オンライン教育講座「金属製錬の熱力学」開催のご案内

【公益社団法人日本金属学会】

金属製錬は､鉱石から酸素や硫黄､不純物を除去して目的の金属を得る技術として、現代社会の構築に大きく貢献してきました。資源の枯渇や地球温暖化が進み、低品位鉱石や都市鉱山の活用が求められ、カーボンニュートラルに向けて様々な取り組みがなされる中、その重要性はさらに高まっています。

本講義では、高温反応での乾式製錬に焦点をあて、その原理となる化学熱力学における化学ポテンシャル、相平衡、状態図などの基礎概念や法則について解説します。さらに、不純物除去のためのスラグ-金属-気体間平衡反応など製錬プロセス解析への化学熱力学の活用について解説します。これらは同様に化学熱力学を活用する湿式製錬や電解精錬を学ぶ上での基礎にもなります。

◆期　日：2022 年 11 月 17 日(木)、18 日(金)
◆会　場：オンライン(Zoom)
◆申込締切：2022 年 11 月 8 日(火)
■申込方法・詳細：下記 URL をご覧下さい。
https://jim.or.jp/EVENTS/lecture/group_004.html

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

D．素形材産業政策関連ートピックス・募集等ー【●●●☆】

∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞

D-1．統計

【経産省】New★

○月例経済報告
　https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2022/1025getsurei/main.pdf
○経済産業省生産動態統計速報（９月分）
　https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/seidou/result/ichiran/08_seidou.html
○製造工業生産予測指数（１０月調査）
　https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/yosoku/result-1.html
○鉱工業生産・出荷・在庫指数速報（９月分）
　https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html
○石油統計速報（９月分）

https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/sekiyuso/result.html

∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞

D−2. １１月はテレワーク月間です　【経産省】New★

テレワーク月間実行委員会（内閣官房内閣人事局、内閣府地方創生推進室、デジタル庁、総務省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、観光庁、一般社団法人日本テレワーク協会、日本テレワーク学会）では、平成27年から11月を「テレワーク月間」として、テレワークの普及促進に向けた広報等を集中的に行っています。

■詳細は以下をご覧ください
https://www.meti.go.jp/press/2022/10/20221028001/20221028001.html

∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞

D−3. ２０２２年度冬季の電力需給対策を決定しました　【経産省】New★

2022年度冬季の電力需給が厳しい状況にあることを踏まえ、11月1日（火曜日）、政府は電力需給に関する検討会合を持ち回り開催し、「2022年度冬季の電力需給対策」を決定しました。

■詳細は以下をご覧ください
https://www.meti.go.jp/press/2022/11/20221101003/20221101003.html

∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞

D−4. 「冬季の省エネルギーの取組について」を決定しました　【経産省】New★

本日、経済産業省は、省エネルギー・省資源対策推進会議省庁連絡会議において、「冬季の省エネルギーの取組について」を決定しました。

■詳細は以下をご覧ください
https://www.meti.go.jp/press/2022/11/20221101001/20221101001.html

∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞

D−5. 新型コロナウイルス・季節性インフルエンザの同時流行に備えた対応について
【厚生労働省】New★

厚生労働省新型ロナウイルス感染症対策推進本部において、「新型コロナウイルス・季節性インフルエンザの同時流行に備えた対応」について決定いたしましたのでお知らせいたします。

■詳細は以下をご覧ください
（厚生労働省特設ウェブサイト）
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kansentaisaku_00003.html

∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞

D−6. 「中小素形材企業のためのDX推進セミナー」　【経産省中部経済産業局】

■タイトル：
中小素形材企業のためのDX推進セミナー
〜IoTの導入による小さな成功体験を通じてDXに前向きな企業へ変革するには〜

■概要：

不確実性の高い世界では、その急激な変化に対応するために自己を変革する能力、すなわち、『企業変革力(ダイナミック・ケイパビリティ)』こそが、事業継続と競争力強化の源泉となります。デジタル化は企業変革を進める上で強力なツールであるところ、ものづくり企業におけるデジタル化の取組は十分に進んでいない実態があります。一方で、安価で使いやすい IoT 機器の出現、各種サービスの導入コスト低下など、人材が不足する企業にとってもデジタル化に取り組みやすい環境が整ってきています。

本セミナーでは、デジタル技術を活用して既存事業の生産効率、労働生産性を大きく改善した事例を紹介し、これらの事例においてどのような課題に直面し、どう乗り越えてきたか、具体的な対応方法などについてお話いただきます。

また、デジタル化に伴うサイバーリスクに対する具体的な対策方法について専門家より解説いただきます。

■日　時：令和４年１１月１５日（火）１３：３０～１５：３０
■方　法：WEB 形式（Microsoft Teams）
■定　員：８０名
■参加費：無料
■プログラム：
（１）中小素形材企業による IoT を活用した実例紹介
　１．生産性向上から人財育成・意識改革につながる製造現場での IoT 活用の実例とポイント
　　株式会社オーテック 小川 大佑 氏（取締役 統括部長）
　２．身の丈 IoT によるカイゼンでダイバーシティから SDGs へイノベーション
　　東和組立株式会社 林 佳寿彦 氏（取締役社長）
　３．IoT、RPA を活用した〝思い〞から始まるカイゼン活動
　　ミズタニバルブ工業株式会社 水谷 真也 氏（代表取締役社長）
（２）サイバーセキュリティ対策について
　　独立行政法人情報処理推進機構（IPA）登録セキュリティプレゼンター
（３）施策紹介（中部経済産業局から）

■申込期限：令和４年１１月８日（火）
○詳しくはこちら
https://www.chubu.meti.go.jp/c31seizo/kigyohenkaku/221115/index.html

＜問い合わせ先＞
中部経済産業局　産業部　製造産業課　伊藤・井上
TEL：052-951-2724　FAX：052-951-0977
メールアドレス：chb-seizo@meti.go.jp

∞∞

D-7. 11 月は「下請取引適正化推進月間」です！　【経産省】

中小企業庁及び公正取引委員会は、下請取引の適正化について、下請代金支払遅延等防止法（以下「下請法」という。）の迅速かつ的確な運用と違反行為の未然防止、下請中小企業振興法（以下「下請振興法」という。）に基づく振興基準の遵守を指導すること等を通じ、その推進を図っています。特に、毎年 11 月を「下請取引適正化推進月間」とし、下請法の普及・啓発事業を集中的に行っています。本年度は以下の取組を行います。

■詳細は以下をご覧ください
https://www.meti.go.jp/press/2022/10/20221005003/20221005003.html

****
■「メルマガ素形材」は、基本、毎月２回程度で発行致します。
次回をお楽しみに！
■「素形材業界関連―募集・トピックス等」に掲載ご希望の方は、
「１.件名　２.主催者名　３.概要　４.HP リンク先」
を記載の上、mail@sokeizai.or.jp までお送り下さい。
■登録内容の変更､配信停止希望はこちら(お問い合わせフォーム)からご連絡下さい。
https://www.sokeizai.or.jp/pages/5/
■お問合わせ、ご意見、ご感想、また掲載内容のご要望はこちらからご連絡下さい。
gyoumu@sokeizai.or.jp
■メルマガ 素形材は、今回で第３８７号となります。メルマガ素形材は“利用しやすい素形材情報”を目指して発信しています。より多くの方にご覧いただくことで内容の充実を図りたいと思っています。
読者の皆様のご意見、ご感想はもちろんのこと、ご関係の方々を当センター事務局にご紹介・ご連絡下さい。
****
■発行元：〒105-0011　東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 3 階 301 号室
一般財団法人 素形材センター
TEL：03-3434-3907　FAX：03-3434-3698　http://sokeizai.or.jp/
****
※ドメイン変更による不着メールが多くなっております。ご所属機関のドメインが変わられた際には必ずお知らせくださいますようお願い致します。